

美瑛高校だより

2021年11月25日

北海道美瑛高等学校

<https://www.biei.hokkaido-c.ed.jp>



薬師寺金堂復活から学ぶ挑戦と結束

校長 升 田 重 樹

早いもので、今年(2021年)も残すところ1月余りです。2年生は12月10日から見学旅行に出発します。昨年度は旅行そのものが中止になり、現3年生は残念な思いをしました。実施できることだけでもありがたく思わねばなりません。4日間の行程で、奈良・京都方面を見学・研修します。私も引率団の一員として同行しますが、見学旅行の引率は今回で15回目になります。何度も同じ場所を訪れていますが、あきることはありません。同じ場所であっても、その時々で新鮮に感じ、いつも新たな発見があります。初めて訪れる場所が、生徒たちの目にどのように映るのか、今からとても楽しみです。

私が見学先で一番注目してほしいのは、奈良の薬師寺の中心にそびえる金堂です。少し解説させていただきますが、この金堂は400年前に消失したものをわずかな手がかりをもとに復元した、昭和最大の建造物で、実に5年の歳月をかけ、1976年に完成したものです。その難工事の総指揮を執ったのが、「鬼」と恐れられた日本一の宮大工、西岡常一さんです。そして、そのもとの工事にあたったのが、全国から集まった37人の若い大工たちでした。しかし、その多くが民家建築の仕事経験しかなかったということです。棟梁の西岡には宮大工の仕事を通じて培った哲学がありました。**「木には強い木と弱い木がある。しかし、強い木だけではいい建物は建たない。大工も同じだ。腕のいい大工も出来ない大工も必要なのだ。それをまとめていくのが棟梁の仕事だ。」**

西岡は経験のない若手たちに、一つ一つ役割を与え、黄金の堂をよみがえらせていきます。そして、最後の難関、大屋根の建造では、もっとも重要な「隅木」の製作を、若手の中でもっとも不器用だった一人の若手に任せ、若手は、見事な仕事で西岡棟梁に答えたということです。とに

かく日本古来の伝統技術の復活を目指し、幻の金堂再建に一から挑み、復元した現代の日本の名工たちは凄いと思います。私は薬師寺を訪れる度に、このことを思い出しながら美しい金堂を眺めます。薬師寺だけではなく、どこの見学地にも歴史やドラマがあります。そして、日本人の凄さにあらためて感銘をうけます。

学校においても、クラスや部活動など、一人ひとりに役割があります。そして、全員の力が結集した時に大きな目標が達成できるのではないのでしょうか。未来に躍動する美瑛高校を皆さんの力でつくりあげていきましょう。

進路決定状況（11月16日現在）

令和3年度3学年進路希望状況（（ ）内は内定及び合格内定者数）

	国公立 大学	私立 大学	短期 大学	看護 学校	専門 学校	民間 就職	公務員	その他	合計
男子	1	3	0	0	13 (7)	10 (5)	0	0	27 (12)
女子	0	2	1	0	10 (8)	4 (4)	0	0	17 (12)
計	1	5	1	0	23 (15)	14 (9)	0	0	44 (24)

※就職内定率 64.3%

今後の主な予定

12月10日（金）～13日（月）見学旅行（2学年）

15日（水）インターンシップ代表者成果報告会（1学年）

17日（金）健康教室（3学年）

23日（木）全校集会

24日（金）冬季休業（～1/16（日））

29日（水）～1月3日（月）学校閉庁日

自分の夢に向かって

これまで発行した美瑛高校だよりにて、本校の特色ある教育活動である「キャリア教育」について、紹介させていただきました。

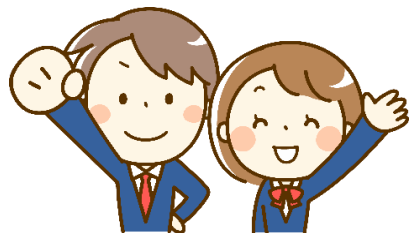
3年生は、3年間の集大成として、自分の進む道に向かい採用試験等に臨んでいるところです。

2年生では、旭川市で開かれた進学相談会に、4割以上の生徒が参加するなど、本格的な進路活動を見据えた動きが活発になりつつあります。参加した生徒の中には、入学した時の進路希望先とは異なり、さらに大きな目標へと変わっていった生徒も少なからずいました。

1年生では、先月実施したインターンシップのクラス内成果発表会が行われました。実施する前の自分、実施している最中の自分、実施後の自分を振り返りながら成果をまとめ、他と共有しています。

このように、学年を積み上げるごとに、より成長していく姿を見られた1ヶ月となりました。地域の皆様のおかげと感謝しているところであります。

今後も、地域ぐるみで生徒を育てられるよう、ご協力お願いいたします。



今年の漢字は???

令和3年も残り1月となってきました。時が経つのは早いものだと日々感じています。

さて、皆さんは「今年の漢字」というのを知っているでしょうか。毎年12月に京都の清水寺境内において、その年の世相（世の中のありさま、風潮）を表す漢字1字を発表されるものであります。

今年1年は皆さんにとって、どのような1年だったでしょうか。一人ひとり異なる1年であったことと思います。何かに熱中した1年だったかもしれませんし、何かを成し遂げた1年だったかもしれません。社会では、「バイデン米大統領就任」「東京五輪・パラリンピックの開催」「大谷翔平選手の活躍」

「岸田内閣誕生」など、様々なことが起きました。「今年の漢字」は日本で1つかもかもしれませんが、一人ひとりの考えによりそれぞれで異なる漢字になることと思います。

大切なのは、「今年の漢字」を考えるにあたり、今年1年の世の中や自分自身を振り返ってみることだと考えます。どのようなことが起こった1年だったのか、起こったことに対してどのような対応をしたのか、その結果どのようなもの（こと）になったのかなど、自分自身で振り返ってみましょう。そうすることにより、新たな自分を発見できるかもしれません。

今年1年の振り返りとして、漢字1字を考えてみましょう。

(今年の漢字)

2020年

密